

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象 知的障害 小学部 6年生

本学習集団は、繰り返しの活動や体験的な学習を通してやることの方が分かり、自分から取り組もうとすることのできる児童が多い。教師の発問に対して、言葉で答えることのできる児童が数名おり、多数の児童は指さしや提示物を触ることで表現する。

また、コロナ禍で、宿泊を伴う校外学習の経験はない。昨年5月に「るくる」への校外学習、今年6月に「駿府城公園」への校外学習を経験している。

2. 単元名「修学旅行に行こう！」（全18時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・修学旅行で行くところが分かり、楽しみなことを見つけたり、約束や日程が分かって見通しをもったりすることができる。
思考力、判断力、表現力等	・修学旅行のおよその予定が分かり、見通しをもったり、調べたことを友達や教師に伝えたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	・目的地について自分なりの方法で調べたり、修学旅行に行くために必要なことに取り組んだりすることができる。

4. 本時の目標

○修学旅行の約束で正しい方を考えたり、約束ごとの正しい行動を表現したりすることができる。

- ・約束が分かり、教師の質問に答えたり選択したりしている。（知識・技能）
- ・約束に合った方法を考えて表現している。（思考・判断・表現）
- ・教師の提示するものを見たり、働き掛けに応じようとしていたりしている。（主体的に学習に取り組む態度）

5. 授業展開【**本時**・単元】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

- ・ミッション4を○にしなкゃ。
- ・修学旅行で、かっこいい6年生になるための約束は何かな。
- ・この約束のときには、どうすればいいかな。

考えるための材料

・二者択一の約束のイラスト（よい例、悪い例）	・約束ごとの正しい行動に実際に取り組む。	・スライドの映像に加えて、近くの教師が選択肢のイラストを提示する。	・まとめとして、2回目の二者択一の約束クイズ。
想定される活動	・どちらが○か考えて答える。 ・イラストを指さして選ぶ。	・イラストを手掛かりに今すべきことを考えて取り組む。 ・友達の様子や教師の促しを受けて同じように取り組む。	・教師の働き掛けに応じて、イラストを指さす。 ・どちらが○か考えて選択する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・どっちが○かな。
- ・パルパル、花鳥園、開華亭、浜松城でのあいさつは何て言おうかな。
- ・（イラストを見て）マスクを鼻まで上げなきゃ。
- ・みんなと一緒に探しに行こう。→見つけたら○がもらえた。→みんなと一緒にできた。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・二者択一の約束のイラストで正しい方を選ぶことができる。
- ・約束が分かって正しい行動をしようとする。
- ・ミッション④が○になったことで達成感を得る。